

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 5つのとりくみ（「あいさつ」「時間」「服装」「言葉づかい」「清掃」）の習慣を自主的に発揮できるように、さまざまな場面で生徒へ意識させている。特に、「時間を守ること」への意識の向上を、クラス、学年、学校全体へ、促してきた結果、全校集会のスムーズな開始、チャイム着席の定着など、全体生徒の時間を守る意識は高まってきている。
また、全学年一斉に毎月、遅刻指導日を設定し、各学年で遅刻の多い生徒への指導と、遅刻連絡カードを利用して、保護者への協力要請をおこなっている。遅刻指導の対象生徒数は、昨年度と大きな変化はないが、その中には、本人の生活習慣の乱れ、家庭環境の不備など遅刻が常習化して、大幅遅刻を繰り返すなど、改善が困難な生徒が一部にみられる。
- 昨年度は、地震・津波を想定した避難訓練を行った。職員には防災計画を配布し、緊急対応の方法を周知した。生徒にも訓練時に資料を配布し、避難の方法等を知らせた。学校評価アンケートの「急な事件や事故、自然災害が発生したとき、どうしたらよいかわかっている」の肯定的回答が 80%以上を達成しており、一昨年度より 10%上昇した。また、事故防止の観点から熱中症予防や救急救命の研修会を行い資料も配布するなど、職員にも周知した。
- 地域との連携によりボアランティア活動の推進を図ったり、小中連携・地域連携による地域行事参加や音楽コンサートを実施することで、人と人との交流を通して心豊かな青少年の健全育成を目指した。
- 昨年度は、校長室だより、学年だより、学校ホームページ等で学校・保護者・地域とで情報を共有し多くの方々に本校教育活動について関心を高めた。
- 昨年度は各学年でグループを作り、ローテーションしていくながら読み物教材は副読本の「あかつき」や個々に準備した資料などを使って全クラスを回る方式で授業を行った。11月には全学年全クラスで公開授業を行うことができた。引き続き、道徳の授業時間の確保をし、本年度は系統だった年間指導計画のもと、様々な内容項目の資料や読み物を使って授業を進めていく。

- 昨年度の学校評価アンケート調査の「学校の授業の復習をしている」の肯定的回答の割合の結果は、2・3年生は指標の65%以上を達成できたが、1年生は達成できなかった。今年度以降は、特に新入生に対して家庭学習の重要性をしっかりと教え、家庭学習の方法を身に付かせる手立てを企てていく必要がある。
- 授業に関しては、昨年度の生徒の学校評価アンケートの「授業はわかりやすい」の肯定的回答の割合は、全学年80%以上であった。保護者の学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの学力充実のために努力工夫をしている」の肯定的評価の割合は、全学年70%以上であった。ほとんどの生徒、保護者において、十分達成できていると判断はできるが、更なる「わかる授業」の実現のために努力していくことは必要不可欠である。
- 昨年度の健康な生活アンケートで「意識して健康な生活をしている」については、肯定的回答の割合が2・3年生は80%以上であったが、1年生は75%であった。様々な機会を通して情報提供や啓発活動を行わなければならない。
- 思考力・表現力の向上をめざして、学校外のコンクールおよび作品募集等を活用し、テーマを与えて「書く」「描く」機会を設定した。特に、国語科、社会科、美術科では夏期休業中の課題として取り上げたこともあり、昨年と同様に多くの生徒が参加できた。また、2年生では人権教育に関するテーマで学年の取組として実施した。総数（累計）として、平成26年度は約470名、平成27年度は約1000名、平成28年度は約1500名が参加している。年々、教科および学年担当者が課題設定を工夫していることや積極的に生徒に奨励することで、応募数が増加し、生徒の意欲の向上や言語力の充実が図られている。

内容項目・タイトル	H26年度	H27年度	H28年度	H28年度入賞者数
英語検定	48名	72名	28名	
漢字検定		118名	82名	41名合格
税の作文	3年全員	3年全員	3年全員	8名入賞 (内1名代表で朗読)
税の標語	3年全員	3年全員	3年全員	1名入賞
読売新聞主催作文コンクール			1年1名	1名入選（優秀賞）
第60回全国学芸サインスコンクール（書道部門）			10名／390名	
交通安全ファミリー作文コンクール等			42名	
第49回手紙作文コンクール			1年20名 2年120名	1名入賞（佳作） 2年参加賞
“社会を明るくする運動”作文		3年10名	1年7名	参加賞
読書感想文		1・2年50名	1年全員	
生命保険に関する作文	4名	1・2年50名	1・2年36名	1名入賞（佳作）
人権啓発キャッチコピー		2年71名	2年全員	4名入賞
人権啓発標語		2年全員		
「夢」に関する絵画・写真コンクール		13名	46名	1名入賞（佳作）
大阪市読書感想画コンクール	23名	6名	8名	1名入賞
読書感想画中央コンクール		1名	1年1名	入選
大阪成蹊アート&コンペティション2016・2017		3名	3年1名	1名入賞（銀賞）
中国語弁論大会参加			2・3年2名	1名優秀賞
日本・スイス青少年交流使節団派遣選抜			3年1名	1名
適切なネット利用対策実践事例コンクール		生徒会	生徒会	佳作

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 33 年度の学校評価アンケート（生徒）の「学校の決まり（校則）を守っている」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（生徒）の「急な事件や事故、自然災害が発生したとき、どうしたらよいかわかっている」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（教職員）の「保健、安全指導は適切に実施できている」「病気・事故への対応は適切である」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（生徒）の「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。
- 平成 33 年度の地域行事参加や音楽コンサート等の実施回数を、平成 28 年度より増加させる。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（保護者）の「学校はホームページ等で情報公開をよく行っている」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（生徒）の「命の大切さや社会のルールについて十分に学んでいる」「人権の大切さについて十分に学んでいる」について肯定的回答の割合を 85%以上、学校評価アンケート（保護者）の「子どもたちは命の大切さや社会のルールについて学んでいる」「子どもたちは人の生き方や豊かな心のあり方について学んでいる」について肯定的回答の割合を 85%以上、学校評価アンケート（教職員）の「計画的、継続的な道徳人権教育が行われている」「道徳授業の工夫・改善に努めている」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 33 年度の学校評価アンケート（生徒）の「学校の授業の復習をしている」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（生徒）の「授業はわかりやすい」「習熟度別少人数授業やチームティーチング授業はわかりやすい」について肯定的回答の割合を 85%以上にする。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（保護者）の「各教科の基礎的・基本的な学力は、身についている」「学校は子どもたちの学力充実のために努力・工夫している」について肯定的回答の割合を 80%以上にする。
- 平成 33 年度の学校評価アンケート（生徒）の「授業で I C T を活用して工夫している」について肯定的回答の割合を 80%以上にする。
- 平成 33 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査におけるシャトルランの平均記録を平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。
- 平成 33 年度の健康な生活アンケートの「朝ご飯はきちんと食べている」の肯定的回答を 95%以上、「手洗いうがいを行っている」の肯定的回答を 85%以上にする。

【その他】

- 平成 33 年度の言語活動に関するコンクールや検定、各種大会および作品募集等の参加数を、平成 28 年度より増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 平成 29 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 90%以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「急な事件や事故、自然災害が発生したとき、どうしたらよいかわかっている」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。
- 平成 29 年度の学校評価アンケート（教職員）の「保健、安全指導は適切に実施できている」「病気・事故への対応は適切である」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。
- 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「命の大切さや社会のルールについて十分に学んでいる」「人権の大切さについて十分に学んでいる」について肯定的回答の割合を 85%以上、学校評価アンケート（保護者）の「子どもたちは命の大切さや社会のルールについて学んでいる」「子どもたちは人の生き方や豊かな心のあり方にについて学んでいる」について肯定的回答の割合を 85%以上、学校評価アンケート（教職員）の「計画的、継続的な道徳人権教育が行われている」「道徳授業の工夫・改善に努めている」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。
- 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。
- 平成 29 年度の地域行事参加や音楽コンサート等の実施回数を、平成 28 年度より増加させる。
- 平成 29 年度の学校評価アンケート（保護者）の「学校はホームページ等で情報公開をよく行っている」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるように標準化した得点のこと）
- 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 5 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 10 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 7 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 10 ポイント増加させる。
- 平成 29 年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「学校の授業の復習をしている」について肯定的回答の割合を 75% 以上にする。
- 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「授業はわかりやすい」「習熟度別少人数授業やチームティーチング授業はわかりやすい」について肯定的回答の割合を 85% 以上にする。
- 平成 29 年度の学校評価アンケート（保護者）の「各教科の基礎的・基本的な学力は、身についている」「学校は子どもたちの学力充実のために努力・工夫している」について肯定的回答の割合を 80% 以上にする。
- 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「授業で I C T を活用して工夫している」について肯定的回答の割合を 80% 以上にする。
- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査におけるシャトルランの平均記録を昨年度より 2 ポイント向上させる。
- 平成 29 年度の健康な生活アンケートの「朝ご飯はきちんと食べている」の肯定的回答を 95% 以上、「手洗いうがいを行っている」の肯定的回答を 85% 以上にする。

【その他】

- 平成 29 年度の言語活動に関するコンクールや検定、各種大会および作品募集等の参加数を、平成 28 年度より増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立堀江中学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 ○ 平成 29 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 90%以上にする。 ○ 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 ○ 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「急な事件や事故、自然災害が発生したとき、どうしたらよいかわかっている」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。 ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（教職員）の「保健、安全指導は適切に実施できている」「病気・事故への対応は適切である」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。 ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「命の大切さや社会のルールについて十分に学んでいる」「人権の大切さについて十分に学んでいる」について肯定的回答の割合を 85%以上、学校評価アンケート（保護者）の「子どもたちは命の大切さや社会のルールについて学んでいる」「子どもたちは人の生き方や豊かな心のあり方について学んでいる」について肯定的回答の割合を 85%以上、学校評価アンケート（教職員）の「計画的、継続的な道徳人権教育が行われている」「道徳授業の工夫・改善に努めている」について肯定的回答の割合を 90%以上にする。 ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。 ○ 平成 29 年度の地域行事参加や音楽コンサート等の実施回数を、平成 28 年度より増加させる。 ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（保護者）の「学校はホームページ等で情報公開をよく行っている」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ・いじめ・暴行の被害の早期発見・早期対応のため、「いじめ調査」「被害調査」を実施する。 指標 ・「いじめ調査」は各学期末、「被害調査」は1・2学期初めに実施する。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ・防災・減災教育を実施し、安全を守るための力の育成をめざす。 指標 ・避難訓練、防災、防犯についての取り組みを年間3回実施する。	
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・道徳の授業時間を確保し、本年度は系統だった年間指導計画のもと、様々な内容項目の資料や読み物を使って授業を進めていく。 指標 ・年間35時間の道徳授業を実施する。 ・年間5回の道徳教育委員会を開き、今年度の道徳教育の充実を図る。	
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・我が国の伝統文化や芸術鑑賞の機会を設定し、芸術に親しみ伝統や文化を大切にする豊かな心を育成する。 指標 ・鑑賞会後のアンケートで満足度を80%以上にする。	
取組内容⑤【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 ・地域行事参加や音楽コンサート等の実施を通して地域に開かれた学校を構築する。 指標 ・平成28年度より多くの地域行事や音楽コンサートへ参加し、満足度を90%以上にする。 ・ホームページの閲覧数を平成28年度より増やす。	
取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 ・地域ボランティアや学校図書館補助員と連携し、学校図書館を「読書センター」としての機能をさらに高め、学校図書館の活性化を図る。 指標 ・平成29年度の学校図書館の利用者を平成28年度より増やす。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立堀江中学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
全市共通目標(小・中学校)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるように標準化した得点のこと) ○ 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 5 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 10 ポイント減少させる。 ○ 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 7 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 10 ポイント増加させる。 ○ 平成 29 年度の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 	
学校の年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「学校の授業の復習をしている」について肯定的回答の割合を 75%以上にする。 ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「授業はわかりやすい」「習熟度別少人数授業やチームティーチング授業はわかりやすい」について肯定的回答の割合を 85%以上にする。 ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（保護者）の「各教科の基礎的・基本的な学力は、身についている」「学校は子どもたちの学力充実のために努力・工夫している」について肯定的回答の割合を 80%以上にする。 ○ 平成 29 年度の学校評価アンケート（生徒）の「授業で I C T を活用して工夫している」について肯定的回答の割合を 80%以上にする。 ○ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査におけるシャトルランの平均記録を昨年度より 2 ポイント向上させる。 ○ 平成 29 年度の健康な生活アンケートの「朝ご飯はきちんと食べている」の肯定的回答を 95%以上、「手洗いうがいを行っている」の肯定的回答を 85%以上にする。 	

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗 状況</p>
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習用プリント教材を用意する等、家庭学習が定着するように工夫する。 ・教科会等で連携を取り、習熟度授業、チームティーチングを充実させる。 ・土曜授業参観等で保護者のアンケートを取り、授業の研鑽を図る。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の学校評価アンケート（生徒）の「学校の授業の復習をしている」について肯定的回答の割合を75%以上にする。 ・実施した習熟度授業、チームティーチングの時間数を、全授業時間数の3分の1を超えるようにする。 ・土曜授業参観でのアンケートについて肯定的回答の割合を70%以上にする。 	
<p>取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報教育委員会でICTの活用状況を報告し、ICTを活用した授業を充実させる。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業を、全教科で実施する。 	
<p>取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業に全身持久力を高める運動を取り入れ、継続する。 <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業の中で毎回筋力トレーニングを実施する。 	
<p>取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりや掲示物などを通じて、意識して健康な生活をするように情報提供や啓発活動を行う。 <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活アンケートの全項目において、年度末の肯定的回答の割合を年度当初より上昇させる。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立堀江中学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【その他】 <input type="radio"/> 平成 29 年度の言語活動に関するコンクールや検定、各種大会および作品募集等の参加数を、平成 28 年度より増加させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【言語力や表現力、論理的思考能力の育成】 ・言語活動に関する各種取り組みの成果や案内等の情報を伝え、積極的に参加させる。 (カリキュラム改革関連)	
指標 ・平成 29 年度の学校外のコンクールおよび作品募集や各種検定等の参加数を、平成 28 年度より増加させる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点